

接 案 昭 和 十 年 九 月 廿 九 日  
 起 案 昭 和 十 年 九 月 廿 九 日  
 施 行 昭 和 十 年 九 月 廿 九 日  
 完 結 昭 和 十 年 九 月 廿 九 日

第 三 八 〇 九 號  
 決 裁 昭 和 十 年 九 月 廿 四 日  
 附 和 拾 本 三 九 月 廿 四 日  
 送 發

次 官 官 官

天 臣 臣  
 拓 北 局 長  
 拓 南 局 長

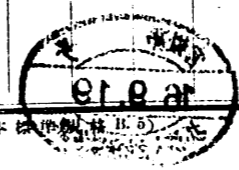
十月之暴令

新 海 軍 次 官  
 次 官

南洋 南洋 南洋 南洋 南洋  
 南洋 南洋 南洋 南洋 南洋  
 南洋 南洋 南洋 南洋 南洋

御礼状一封、封元、櫻花、中、了、殊、右、の、差、又  
是、之、封、の、同、管、帳、川  
是、之、奉、付、の、宛、合、一、上、々、其、日、日、並、宛、合、奉、次  
等、御、意、報、知、候、度、に

加藤 義共 朔二  
加藤 義共 朔二



(紀安川紙三號ノ三) (富井納)

(日本郵便法第115条)

REEL No. A-1220

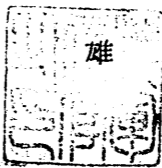
アジア歴史資料センター

官房第四九〇五號

昭和十六年九月十七日

海軍次官 澤 本 頼

拓務次官 北 島 謙次郎 殿



拓務省職員ヲ海南警備府配屬ニ關スル件照會

左記ノ者明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ海南警備府ニ配屬致度候ニ付テハ貴省ニ於テ御差支ノ有無至急御回報ヲ得度

記

拓務技師兼農林技師

拓務理事官

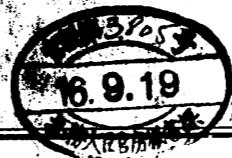
淺 川 其 二

加 藤 義 明 現 三 級 佐 文 (北 監)

二 次 三 三 一 二 等

現 三 級 佐 文 (終)

一三、七、二九 兼 農 林 技 師



(森市轉) 石

海 軍

大

次官  
大臣

秘書課長  
出 發



海南警備府附  
拓務技師

淺川 其二



小官儀來ル二十三日東京出發二十四日神戸港ヨリ乗船臺灣經由任地

ニ赴任可致候間此段及御届候

昭和十六年十月十六日

拓務大臣 豊田 貞次郎 殿

履歴記入済

拓務省

タイプワイヤー用紙 (赤澤納)

(日本標準規格 B.4)

大

次官  
臣

秘書課長

出 發 届

海南警備府附  
拓務理事官

加 藤 義 明

小官儀來ル二十一日東京出發二十四日神戸港ヨリ乗船臺灣經由任地

ニ赴任可致候間此段及御届候

昭和十六年十月十六日

拓務大臣 豊田貞次郎 殿

履歴記入済

拓務省

マイプライム用紙(赤澤納)

(日本標準規格B.4)

REEL No. A-1220

アジア歴史資料センター



拓 第		昭 和 十 六 年 十 月 三 十 日 午 前 二 時 三 〇 分 受
宛 名		發 信 局 海 防 二 主任
拓 南 局 長		
電 報 譯 文		
三十日三名無事着ク		
發 信 人		加 藤 義 明

(電報譯文用紙)

REEL No. A-1220



人秘第一號ノ三六八

昭和十六年十月六日

海軍省人事局第一課長

拓務大臣官房秘書課長殿

拓務省並台湾總督府職員ヲ海南警備府附既屬ノ件通知  
首題ノ件ノ左記ノ通發令セラレ候

台湾總督府長官 黒河 左

海南警備府附ノ命ス

昭和十六年五月十六日、海軍省

台湾總督府地方技師 青木 繁

台湾總督府技師 小野 卯一

同 山口 榮三郎

(各通) 台湾總督府技師 佐保 一人

大日本帝國政府

台湾總督府技師 鈴木 忠五郎

同 岡田 直

海南警備府附ノ命ス

昭和十六年七月八日 海軍省

拓務技師 淺川 其二

拓務理事官 加藤 義明

(各通)

海南警備府附ノ命ス 昭和十六年十月六日 海軍省

(終)

(折上り國定規格紙ハニ×ニニニ)